

「社会的養護を必要とする子供の体験活動を推進するためのフォーラム」

～スマイル・フォー・オール・セミナー～

開催要項

1. 趣旨 保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童等、社会的養護が必要な子供たちに生じている「体験格差」を解消することが今日的な課題になっている。
 こうした子供たちに多様な体験の機会を提供するためには、児童養護施設等の関係機関・団体と、青少年教育施設や関係民間団体等との連携が不可欠である。
 そこで、両関係者が一堂に会し、社会的養護を必要とする子供にとって体験が重要であることの理解を深め、体験活動事業を計画する際のノウハウを得ること等を目的に、本フォーラムを開催する。
2. 主催 国立山口徳地青少年自然の家
3. 後援 島根県・広島県・山口県・福岡県教育委員会
 山口市・防府市・周南市・下関市・岩国市・美祢市・長門市教育委員会
4. 日時 平成 29 年 1 月 14 日（土）14:00～15 日（日）12:40
 ※1泊2日の全日程参加，14日や15日のみの日帰り参加，プログラムの一部参加可
5. 会場 山口県セミナーパーク・研修棟（山口市秋穂二島 1062）
6. 対象 ○児童相談所・児童養護施設職員，里親，児童民生委員，行政関係者など社会的養護を必要とする子供に関わる方
 ○青少年教育施設や青少年団体，民間自然学校等，子供の体験活動に関わる方
 ○学校教員や大学教官，大学生等，本テーマに関心のある方
7. 募集 ○全日程参加 50 名程度 ○14日や15日のみ1日参加 20 名程度

8. 日程・内容

(1) 日程

14 日	13:30	14:00	14:10	15:10	16:30	16:40	17:40	19:00
	受付	開会 行事	①基調講演	②パネルディ スカッション		③ポスターセッション	入 浴	夕食 情報交換会
15 日	7:30	9:00	11:00			12:30 12:40		
	朝食	④ワークショップ 「体験活動事業の企画と運営」		⑤説明「子どもゆめ基金～困難な状況 にある子供の体験活動への支援～」		閉会 行事		

(2) 内容

①基調講演

- ◇演題 「社会的養護を必要とする子供に体験活動の機会を提供することの意義」
- ◇講師 幸重 忠孝 氏(社会福祉士，花園・京都橘・龍谷・仏教大学非常勤講師)

②パネルディスカッション

◇テーマ「社会的養護を必要とする子供の体験活動事業の企画と運営」

◇パネリスト

「里親と里親の子供たちの『リフレッシュキャンプ』」主催

○「SOS子どもの村 JAPAN」福岡市子ども家庭支援センター相談支援員

橋本 愛美

「児童養護施設の子供たちの『生活・自立支援キャンプ』」主催

○「沙羅の木」主任母子支援員 山元 真哉

○「吉敷愛児園」個別対応職員 金子 敬史

○周防大島町立情島小中学校 担当教員

○国立山口徳地青少年自然の家 事業推進室長 片山 敏郎

③ポスターセッション（「生活・自立支援キャンプ」6つの事例）

◇山口県母子支援施設「沙羅の木」

◇児童養護施設「防府海北園」

◇広島県母子支援施設「和光園」

◇周防大島町立情島小中学校

◇山口県施設連絡協議会

◇山口県母子・父子福祉センター

④ワークショップ

◇テーマ 「体験活動事業の企画と運営」（企画の立て方と運営上の留意点）

◇講師 国立山口徳地青少年自然の家次長 今坂 雅志

⑤説明

◇テーマ 「体験活動事業への助成制度～子どもゆめ基金～」

◇講師 国立山口徳地青少年自然の家所長 小林 真一

9. 参加費

(1) 全日程参加者 4,600円（アルコールなし4,100円）

<内訳>夕食・情報交換会（アルコール有3,000円 無2,500円）宿泊1,500円、
教材費100円 ※夕食以外は、別途各自でご購入ください。

(2) 日帰り・部分参加者 100円 <内訳>教材費100円 ※食事が必要な方は各自で購入

10. 申込

(1) 方法 参加申込書に必要事項をご記入の上、ファックスまたはメールにて応募

(2) 締切 平成29年1月4日（水）昼12:00まで（※先着順）

11. 送迎について 新山口駅から本事業の会場となるセミナーパーク玄関口まで送迎

12. 申込・問合せ先

国立山口徳地青少年自然の家〒747-0342 山口県山口市徳地船路668

「スマイル・セミナー」係 担当：片山 敏郎（事業推進室長）

TEL：0835-56-0112 FAX：0835-56-0130

URL：<http://tokuji.niye.go.jp> E-mail：tokuji-kikaku@niye.go.jp

